

事業所名	こどもサポート・ポプリ	支援プログラム（児童発達支援）	作成日	2024年	10月	1日
法人（事業所）理念	<p>【はじめの一步】子ども一人ひとりが持つ個性を尊重し、一步踏み出せるようサポートします。</p> <p>【はばたく一步】地域の人々と手をつなぎ、社会的・文化的豊かさの充実を図ります。</p> <p>【ご家族と一步】様々なニーズに耳を傾け、意見交換すると共に、適切なアドバイスができるよう努めます。</p>					
支援方針	<p>【人間性を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団生活において、同年齢又は異年齢同士との関わりの中からルールやマナーを学び、社会生活に必要な力を身につけます。 ・相互性のある関係を築き、子どもも大人も共に成長する。 <p>【自立に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活動作の習得、生活リズムの確立、気持ちのコントロール等、自立に向けての支援を行います。 <p>【安心と安定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが置かれている状態を的確に把握し、それらの沿った支援を行います。 ・寄り添う支援をもとに、安心して過ごすことのできる環境作りを行います。 ・利用児との関わり方や子育てについて一緒に考え、前向きな方法で向き合えるよう家族をサポートします。 <p>【社会参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の幅を広げ、積極的に地域の行事に参加し交流を図ります。 					
営業時間 （サービス提供時間）	8 (9) 時 00 分から	18 (17) 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり	（ご利用状況による）	
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	日常生活動作の基本となる動きを1日を通して学びます。 健康的な生活リズムを習得するための健康チェックシートを活用したアドバイス（食事・排泄・睡眠等含む） 栄養管理された給食を食べ、食育を実施します。				
	運動・感覚	感覚の特性に応じた運動や制作活動を提供します。 キッズピクス・感覚教材・園庭遊び・お散歩・季節の制作・いろんな道具の使い方等				
	認知・行動	物の数や大きさ、色や形の基本的概念の習得（絵本・絵カード・パズル・積み木等）します。 五感を使い必要な情報を収集し認知機能の発達を促します。 活動への切り替えの促しに声かけのタイミングやタイマーを使って気持ちの切り替えをスムーズに行います。				
	言語 コミュニケーション	指さしや身振り、ジェスチャーを用いた非言語的コミュニケーション方法を学びます。 言葉の習得（絵本の読み聞かせや写真・絵カードを使ったSSTを実施します） 発語を自然と促せるような小集団活動や保育者が仲立ちをしながら他児と学びます。				
	人間関係 社会性	ひとり遊びから小集団活動へ 保育者や他児を交えたごっこ遊びの提供 手順やルールを理解を促すための失敗と成功の体験				
家族支援	来所時や送迎時等、保護者さまに日頃の様子や子育てのHowtoや悩みを伺います。 半年に一度保護者さまとの面談を推奨しています。 夏祭りや餅つき会等のイベントを開催し事業所の見える化に努めます。	移行支援	保育園や幼稚園、こども園への移行に際し、園生活に必要な支援を行います。 また実際に園生活に移行できた時には状況により担当者が見学に向い先生との面談を行います。			
地域支援・地域連携	同一法人内の保育園との合同イベント等や地域で開催されるお祭り等に参加します。 公共施設の利用方法やマナー等、保育者と一緒に支援します。	職員の質の向上	年間を通じた定期的な勉強会を開催 外部研修への積極的な参加			
主な行事等	1月/新年の集い 2月/節分の会 3月/ひな祭り会 4月/お花見見学 5月/母の日制作 6月/父の日制作 7月/七夕祭り 8月/みなと祭り 9月/お月見会 10月/ハロウィンパーティー 11月/七五三の会 12月/クリスマス会・大掃除					

事業所名	こどもサポート・ポプリ	支援プログラム（放課後等デイサービス）	作成日	2024年	10月	1日						
法人（事業所）理念	<p>【はじめの一步】子ども一人ひとりが持つ個性を尊重し、一歩踏み出せるようサポートします。</p> <p>【はばたく一步】地域の人々と手をつなぎ、社会的・文化的豊かさの充実を図ります。</p> <p>【ご家族と一步】様々なニーズに耳を傾け、意見交換すると共に、適切なアドバイスができるよう努めます。</p>											
支援方針	<p>【人間性を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団生活において、同年齢又は異年齢同士との関わりの中からルールやマナーを学び、社会生活に必要な力を身につけます。 ・ 相互性のある関係を築き、子どもも大人も共に成長する。 <p>【自立に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活動作の習得、生活リズムの確立、気持ちのコントロール等、自立に向けての支援を行います。 <p>【安心と安定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりが置かれている状態を的確に把握し、それらの沿った支援を行います。 ・ 寄り添う支援をもとに、安心して過ごすことのできる環境作りを行います。 ・ 利用児との関わり方や子育てについて一緒に考え、前向きな方法で向き合えるよう家族をサポートします。 <p>【社会参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の幅を広げ、積極的に地域の行事に参加し交流を図ります。 											
営業時間 （サービス提供時間）	8 (9)	時	00	分から	18 (17)	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	（ご利用状況による）	
支援内容												
本人支援	健康・生活	日常生活動作の習得と手段的日常生活活動を学びます。 健康的な生活リズムを習得するための健康チェックシートを活用したアドバイス（食事・排泄・睡眠等含む） 食育（菜園体験やおやつ作り・長期休暇では給食を提供します）										
	運動・感覚	感覚の特性に応じた運動や制作活動を提供します。（自転車の乗り方等） キッズピクス・感覚教材・散歩・季節の制作・いろいろな道具の使い方等										
	認知・行動	小集団での活動や遊びのなかで、適切な行動を習得します。 こだわりとワガママの違いを丁寧に説明します。 空間・時間・数の概念など認知発達を促すことができるよう環境設定を行い、スケジュールボードや時間の見える化を設定し活動への切り替えの促します。 また声かけのタイミングやタイマーを使って気持ちの切り替えをスムーズに行います。										
	言語 コミュニケーション	挨拶や場面に合った言葉使い、友だちや大人（支援者等）とのコミュニケーション能力の獲得を促します。 読み・書きに対する学習支援やコミュニケーション手段の活用をSSTやロールプレイを行い促します。										
	人間関係 社会性	小集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学びます。 社会体験や地域交流の場を設け社会との繋がりを維持、拡大に努めます。 地域社会体験を通じて自己理解、他者理解へ繋げていきます。										
家族支援	来所時や送迎時等、保護者さまに日頃の様子や困りごとを伺います。 半年に一度保護者さまとの面談を推奨しています。 夏祭りや餅つき会等のイベントを開催し事業所の見える化に努めます。							移行支援	具体的な移行先との調整、相談援助、連携に努めます。			
地域支援・地域連携	相談支援事業所や学校、併用利用先との情報共有に努めます。 公共施設の利用方法やマナー等、支援者と一緒に学びます。							職員の質の向上	年間を通じた定期的な勉強会を開催 外部研修への積極的な参加			
主な行事等	季節の行事（餅つき会・お花見・夏祭り・ハロウィン・クリスマス等） 季節の制作（豆まき・鯉のぼり・母の日・父の日等） 長期休暇には工場見学や川遊び等を実施します。											

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス / こどもサポート・ポプリ

項目	主なねらい
健康・生活	①健康状態の維持・改善
	②生活のリズムや生活習慣の形成
	③基本的な生活スキルの獲得
具体的な支援内容	
健康状態の把握	
<p>①ご利用前に保護者さまご協力のもと「健康チェックシート」の記入をお願いしております。</p> <p>②ポプリに到着した時刻と休日中では正午、帰宅前に検温と視診を行います。</p> <p>③「鼻水が出る」「咳が出る」等の自らの体調についても意識できるよう鼻のかみ方やマスクの着用等の支援を行います。</p>	
健康状態の維持・改善	
<p>①集団活動等においてポプリでは外部講師を招き、キッズボックスを取り入れて基礎運動や体を思いっきり動かすことができる環境を提供致します。また体力の維持及び運動能力の向上、何より運動が楽しいと思えるように支援致します。</p>	
基本的な生活スキルの獲得	
<p>①ポプリでの日常生活や個別支援の中で、整理整頓（お片付け）の習慣がつけられるよう、個人用のロッカーを設置したり、玩具置き場には実物の写真を貼り付けて物の把握を行えるようにします。</p> <p>②食後の歯磨き、来所時には手洗い・うがい、お手洗いの後は手洗いが自然と行えるように手順表を掲載しております。</p>	
構造化等により生活環境を整える	
<p>①個別・集団活動等、様々なあそびや体験を通して全体の状況や流れを学ぶことができるように室内のフロアを分けて支援を行っています。</p> <p>②お子さま一人ひとりの特性に合わせて声や指示をかけるタイミングや状況を理解できるように「目で見て理解できる」環境を設定します。</p>	

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス / こどもサポート・ポプリ

項目	主なねらい
運動・感覚	①姿勢と運動・動作の向上
	②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
	③保有する感覚の総合的な活用
具体的な支援内容	
<p>姿勢と運動・動作の向上</p>	
<p>①日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化を図ります。 - 生活内での基本的動作を主に（靴の着脱、手洗い・うがい・排泄・食事等）</p> <p>②個別・集団活動の中で、椅子や机を用いて支援を行い正しい姿勢の習得を目指します。 - 絵本の読み聞かせやお子さま一人ひとりが集中できるツールを用いて自然と「座る」が行えるように支援致します。</p>	
<p>補助的な手段の活用</p>	
<p>①お子さまが使用しているメガネや補聴器、食事においてはスプーンやフォーク、お箸など各種の補助ツールを効果的に活用できるように支援致します。</p> <p>②五感で楽しめる季節に応じた制作活動を提供して基本的な「感覚」を楽しみながら自身で感じられるように支援致します。</p>	
<p>保有する感覚の活用</p>	
<p>①保有する五感を最大限活かすことができるように、あそびを通して支援致します。</p> <p>②縄跳びや自転車の乗り方、<u>バランス感覚</u>など体の使い方や強弱・方向の感覚を見つけられるように支援致します。</p>	

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス / こどもサポート・ポプリ

項目	主なねらい
認知・行動	①認知の発達と行動の習得
	②空間・時間・数等の概念形成の習得
	③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
具体的な支援内容	
<p>認知の発達と行動の習得</p> <p>①お子さま一人ひとりの特性に応じた、<u>五感を十分に活用して必要な情報を収集しやすいように、色や形（絵や文字）、音や香りや味、触り心地や温度が直接分かるように認知機能の発達を促すことのできる支援</u>を提供します。</p> <p>②個別・集団活動の中で活動内容から情報を収集しやすいように<u>イラストや写真を用いて手順を習得し、言葉や実際に保育者が演じてルールの説明を「目で見て理解できる」内容として、実際に自らが行動につなげられるように支援</u>致します。</p>	
<p>空間・時間・数等の概念形成の習得</p> <p>①<u>多い・少ない、大きい・小さい、長い・短いなどの概念が「目で見て理解できる」具体的な対象物を用いて支援</u>致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - （例）ブロックの数・ボールの大小・紐の長さでは視覚的要素から概念形成を促します。 - （例）午前中のプログラム・給食・午後のプログラムをホワイトボードに掲示して時間の概念形成を促します。 - （例）活動フロアをパーティションで施しフロアの床色を変えて具体的活動内容の仕分けを行い概念形成を促します。 	
<p>対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</p> <p>①イラストや写真、ホワイトボードなどを用いて、<u>自身で理解できる情報を適切に処理し（促し）、自身で選択できる環境を整えて一人ひとりの特性に配慮し支援</u>致します。</p> <p>②給食やおやつ等を含め、<u>こだわりや偏食についても部分的に自らが解除できるように支援</u>致します。</p>	

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス / こどもサポート・ポプリ

項目	主なねらい
言語 コミュニケーション	①言語の形成と活用
	②言語の受容及び表出
	③コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の選択と活用
具体的な支援内容	
言語形成と活用	
<p>①お子さま一人ひとりの特性に合わせて<u>具体的な体験や意味の理解</u>ができるように「<u>目で見て理解できる</u>」内容を掲示して保育者が代弁して、<u>その事実を声や言葉・音として覚えられる</u>ように支援致します。</p> <p>②言葉を通して身近な物や人を表して受容が行えるように支援致します。</p>	
言語の受容及び表出	
<p>①受容が少しずつ進み<u>自ら伝えたい、発信したいと思える</u>ような<u>保育者との信頼関係</u>を構築していきます。</p> <p>②絵本の読み聞かせ、対象物を同語反復練習、お子さま一人ひとりの<u>気持ちの代弁経験</u>を通して支援を行います。</p>	
コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の選択と活用	
<p>①言語的コミュニケーションが図れるお子さまに対して、<u>正しい言葉の理解と活用方法</u>を繰り返しその場面に応じて伝え、支援致します。</p> <p>②非言語的コミュニケーションが図れるお子さまに対して、<u>場面に応じたジェスチャーや仕草、表情や態度</u>を繰り返し伝え、支援致します。</p>	

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス / こどもサポート・ポプリ

項目	主なねらい
人間関係 社会性	①他者との関わり（人間関係）の形成
	②自己の理解と行動の調整
	③仲間づくりと集団への参加
具体的な支援内容	
アタッチメント形成	
<p>①話す・聞く・触れるなどのコミュニケーションを通して、<u>人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を構築して</u>いきます。 その信頼関係をベースに周囲の人や友だちと安定した関係を形成するための支援を行います。</p> <p>②あそびや経験を通して保育者がお子さま一人ひとりの<u>気持ちを代弁して対人関係を円滑に</u>促します。</p>	
自己の理解とコントロールのための支援	
<p>①保育者はお子さま一人ひとりの特性を理解して、<u>声掛けや指示のタイミングを統一して</u>支援致します。</p> <p>②できる・できない等の自身の行動特性を理解し、<u>気持ちや感情の調整</u>ができるように配慮して支援致します。</p>	
集団への参加と支援	
<p>①<u>個別活動から集団活動への移行に</u>、お子さま一人ひとりの特性を理解して<u>状況や状態に合わせて苦手意識を限りなく少なく</u> 配慮できるように促していきます。</p> <p>②安心して参加できるように<u>保育者が側にいることで安全第一</u>となり、<u>保育者自らが楽しむことができるように活動の設定を</u>施します。</p> <p>③<u>相手の気持ちや状況の理解</u>が円滑に行えるように<u>保育者がフィルター</u>となり代弁して<u>相互理解が図れる</u>ように支援致します。</p>	